

2017年国内家庭用ゲーム市場規模は3917.5億円。

- ・Nintendo Switchが牽引、11年ぶりにハード/ソフト市場前年増。
- ・「ドラゴンクエストX I」が2機種合計で累計300万本突破。

ゲーム総合情報メディア「ファミ通」は、2017年の国内家庭用ゲーム市場について、以下のとおり速報をまとめました。集計期間は2016年12月26日～2017年12月31日です。

※本データを記事にてご使用になる場合は、ファミ通調べ、もしくはゲーム雑誌「ファミ通」を発行する当社(Gzブレイン)調べなど、必ず「ファミ通」というブランド名の記載をお願いいたします。

■2017年国内家庭用ゲーム市場規模：3917.5億円

(集計期間：2016年12月26日～2017年12月31日／週数：53週 ※市場規模はハード・ソフトの合計値です。)

【年間ソフト販売本数 TOP10】(累計販売本数の集計期間は各発売日～2017年12月31日)

単位：本

順位	ハード	タイトル	メーカー	発売日	推定年間販売本数	推定累計販売本数
1	3DS	ポケットモンスター ウルトラスン・ウルトラムーン	ポケモン	2017年11月17日	2,003,607	2,003,607
2	Switch	スプラトゥーン 2	任天堂	2017年7月21日	1,752,096	1,752,096
3	3DS	ドラゴンクエストX I 過ぎ去りし時を求めて	スクウェア・エニックス	2017年7月29日	1,744,603	1,744,603
4	3DS	モンスターハンターダブルクロス	カプコン	2017年3月18日	1,684,991	1,684,991
5	PS4	ドラゴンクエストX I 過ぎ去りし時を求めて	スクウェア・エニックス	2017年7月29日	1,336,180	1,336,180
6	Switch	スーパーマリオ オデッセイ	任天堂	2017年10月27日	1,324,280	1,324,280
7	Switch	マリオカート 8 デラックス	任天堂	2017年4月28日	1,103,744	1,103,744
8	Switch	ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド	任天堂	2017年3月3日	688,044	688,044
9	3DS	ポケットモンスター サン・ムーン	ポケモン	2016年11月18日	576,506	3,822,728
10	3DS	スーパーマリオメーカー for ニンテンドー3DS	任天堂	2016年12月1日	423,073	1,166,461

2017年の国内家庭用ゲーム市場について

2017年の家庭用ゲーム市場規模は、ハード・ソフト合計で昨年対比130.8%の3917.5億円となっています。Nintendo Switchが大ヒットし、ハード市場を大きく牽引したほか、ソフト市場もプレイステーション4とニンテンドー3DSを中心に、前年を上回る売上となりました。ハードとソフトの市場規模がともに前年からプラスとなるのは、2006年以来、11年ぶりとなります。

年間ソフトランキングトップは、200.4万本を販売した「ポケットモンスター ウルトラスン・ウルトラムーン」(ポケモン/2017年11月17日発売/3DS)です。

「ドラゴンクエストXI 過ぎ去りし時を求めて」(スクウェア・エニックス/2017年7月29日発売/PS4、3DS)については、2機種合計で308.1万本と、タイトル別合算では2017年で最大の売り上げとなりました。なお、133.6万本を販売したPS4版の「ドラゴンクエストXI 過ぎ去りし時を求めて」は、プレイステーション4タイトルにおける歴代最高のヒットを記録しています。

2017年は、7本のタイトルが100万本を突破(2016年は2タイトル)しています。年間ミリオンヒット7本は、2010年に達成して以来、7年ぶりとなります。

2017年3月3日に発売し、話題を呼んだNintendo Switchは、340.7万台を販売、年間ハード販売台数において首位を獲得しました。ソフトタイトルでも、年間2位の「スプラトゥーン2」(任天堂/2017年7月21日発売/Switch)が175.2万本を販売したことを筆頭に、3タイトルがミリオンに到達。2018年も引き続き市場を牽引することが期待されます。

プレイステーション4については、2016年を上回る193.5万台を販売し、年間ハード販売台数の2位となっています。本年1月26日には、シリーズ待望の新作「モンスターハンター:ワールド」(カプコン/2018年1月26日発売予定/PS4)の発売が予定されており、市場の注目を集めています。

＜ファミ通調べ＞

(注)ソフトの売上本数については、集計期間中に販売されたすべてのタイトルを対象としています。

2種類以上のバージョンや周辺機器・本体等との同梱版が発売されているソフトのデータは、すべての種類を合計した数字となります。

(発売日は前に発売されたもの、価格は通常版を表示しています)

◇「ファミ通」について



ファミ通グループでは、ゲーム総合情報誌「週刊ファミ通」をはじめとするファミ通各誌、「ファミ通.com」や「ファミ通App」といったゲーム情報サイトなど、様々なサービスを展開しています。また、電子出版事業にも積極的に取り組み、「週刊ファミ通」電子版や、ゲーム攻略本・設定資料集の電子書籍を多数配信しています。さらに、全国約3,600店舗のファミ通協力店からゲームの売上データを集計、毎年「ファミ通ゲーム白書」を発刊。2017年12月12日には、モバイルゲームに特化した「ファミ通モバイルゲーム白書2018」を発売しました。

◆株式会社Gzブレイン(ジーズブレイン)について



株式会社Gzブレイン(代表取締役社長:浜村 弘一)は2017年7月3日、カドカワ株式会社の100%子会社として設立。『ファミ通』や『B's-LOG』ブランドをはじめとする、様々なゲームメディア・サービスの企画・制作・編集・運営を行っています。情報誌や書籍の出版だけでなく、Webメディアやイベントの企画・運営、ゲーム動画・映像配信やコンテンツ制作、ゲームマーケティング事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業を展開しています。

公式サイト URL: <http://gzbrain.jp>